

各 位



平成16年11月17日

小倉クラッチ株式会社

(コード番号6408 ジャスダック登録銘柄)

代表取締役社長 小倉康宏

問い合わせ先 常務取締役 大竹範夫

TEL (0277)54-7101(大代表)

平成17年3月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、連結については平成16年8月20日の四半期業績の概要発表時に公表した業績予想を、個別については平成16年5月27日の決算発表時に公表した業績予想をそれぞれ下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成17年3月期中間連結業績予想値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (16年8月20日発表)	21,880	610	300
今回修正予想(B)	22,557	1,023	536
増減額(B-A)	677	413	236
増減率(%)	3.1	67.7	78.7
(ご参考) 前中間期(15年9月期)実績	22,311	819	337

2. 平成17年3月期中間個別業績予想値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (16年5月27日発表)	15,950	460	248
今回修正予想(B)	17,334	551	333
増減額(B-A)	1,384	91	85
増減率(%)	8.7	19.8	34.3
(ご参考) 前中間期(15年9月期)実績	15,954	232	60

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想

売上高は当初目標額を達成しました。利益につきましては、米国製造子会社は原材料価格高騰に対し、内作化による原価低減が寄与し、フランス子会社は固定費削減効果が発現し、親会社の為替差益の発生などもあり、経常利益、中間純利益とも増加する見込みです。

(2) 個別業績予想

売上高は当初目標額を上回りました。その結果、利益につきましては、操業度の上昇や生産性の向上、及び為替差益196百万円の発生などにより、原材料価格の高騰をカバーし、経常利益、中間純利益とも増加する見込みです。